

# 市之川公民館だより

令和元年10月号  
(No.550号)  
発行；市之川公民館  
西条市市之川6678-1

## 10月 神無月 (かんなづき)

10月になっても日中は強い日差しを受けますが、夕方になると涼しい風が吹き、肌寒く感じるようになりました。過ごしやすい季節ではありますが、体調をくずさないようお気をつけください。



### 《10月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
12	土	からおけ会 10:00～ 集会室
14	月	祝 体育の日
22	火	祝 即位礼正殿の儀の行われる日
26	土	からおけ会 10:00～ 集会室

## ※ 視察研修(予定)のお知らせ

日 時：令和元年11月19日(火)

集合時間：午前8時30分

集合場所：武丈公園駐車場

視察場所：徳島県立防災センター・ドイツ館ほか

費用：2,000円

申し込み：11月10日(日)までに、市之川公民館へ【定員：19名】

※11月号の公民館だよりにて改めてご案内いたします。

希望される方は日程調整をお願いします。

## ※ 敬老会

9月15日(日)に公民館において【敬老会】が行われました。  
19名が参加され、楽しいひとときを過ごすことができました。  
お世話してくださりました皆様、ありがとうございました。



伊藤芳子さんによる  
日本舞踊が披露され、  
会場が盛り上がりました。

## ※ 新居浜から

9月19日(木)に「新居浜ウォーカーズ別子」から6名の方が来館されました。伊予西条駅から歩いて来られたそうです。



初めての来館。1時間ほど滞在され、熱心に見学  
されていました。  
これを契機に交流が深まるといいですね。



ごみをみだりに捨てることは、法律で禁じられています！

水路や河川、道路などの公共の場所は、みなさんの財産です。  
何気ないごみのポイ捨ては、河川へ流れつき、流域の皆さんにも大変迷惑が掛かってしまいます。  
法律に違反しごみを捨てると、5年以下の懲役か1,000万円以下の罰金又はその両方に処せられます。  
絶対に捨てないで、持ち帰り、家庭ごみと一緒に、ごみステーションへ出し  
しましょう！



### 高齢者交通安全教室を開催します！

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。ドライビングレコーダーによる運転のチェックを行うことで、ご自身の運転技能を再確認することができます。ぜひ、ご参加ください。

- 日程：11月11日（月）
- 時間：9時～12時（1回目）、13時30分～16時30分（2回目）
- 場所：西条ドライビングスクール（西条市石田284番地）
- 対象：市内在住のおおむね65歳以上の方で、自動車運転免許をお持ちの方
- 定員：1回20人（先着順）
- 申込先：西条市役所危機管理課くらし安全係  
TEL0897-52-1284（直通）



## 文芸欄

- |                      |                     |                     |                        |                         |                         |                      |                       |                            |                       |                        |                         |                        |
|----------------------|---------------------|---------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|
| ○宵闇に<br>提灯ともる<br>先斗町 | ○夕立に<br>山道急ぐ<br>鞍馬山 | ○輝安鉦<br>京の都に<br>訪ね人 | ○雨あがり<br>まだまだ暑き<br>夏の空 | ○草の芽は<br>早くのびるよ<br>道せまし | ○忘れじと<br>道浴えに咲く<br>ひがん花 | ○枝豆で<br>ビール一杯<br>秋の風 | ○石垣に<br>沢蟹出入り<br>餌ねだる | ○カキクリも<br>猿に食われて<br>爺はがっくり | ○鎌ふつて<br>猿おいかけ<br>命乞い | ○寢室に<br>チンチロリンと<br>子守唄 | ○石垣の<br>中から聞こえ<br>ちんちろり | ○芋の酒<br>さしつさされし<br>親子酒 |
| 館長                   | 館長                  | 館長                  | 知歎                     | 知歎                      | 知歎                      | 正                    | 正                     | 正                          | 正                     | 正                      | 正                       | 正                      |



2019年9月10日

～毎月10日は人権を考える日～

### 『手は嘘をつかない』

絵本作家の中川洋典さんが、被差別部落の伝統産業である皮革産業を題材にした人権総合学習絵本『太鼓』の作画依頼を受け、取材で太鼓作りの現場に行った時のことを次のように述べられています。特に、感銘を受けたところを要約または抜粋して紹介します。



学習絵本 「太鼓」  
文：三宅 都子  
絵：中川 洋典

太鼓職人の世界というもの初めてみせてもらった時の衝撃は今も体の中に残っている。作業工程は、どれも集中力を必要とされるもので、視覚だけでなく、指先や音によって情報を掴むことで品質を上げていく、まさに個の技能が全てを決める世界だ。見ていて「うわっ！」と思ったのは、職人さんの手である。職歴50年のベテランの指や手の甲、手首の関節は太く、同じ男として憧れるような手だったことを覚えている。(略)疑問に思ったことを質問すると初歩かく、同等の立ち位置で、しかも敬語で一つ一つ丁寧に答えてくれた。太鼓職人としての誇りについて尋ねた時は、

「それは内にしまっておくもの。一言でも口に出して人に聞かれたら、その瞬間に失われてしまう。」

この謙虚にして厳かな姿勢。ものを作る仕事に対する愛情、心構え、厳しさ、手応えの話を聞いたことは、今もわが身を照らし合わせる時のものさしになっている。

この絵本は、太鼓の作り方から演奏方法、歴史までわかるものです。太鼓は、動物の皮革からできます。絵本からは、「人権・命」そして、「職人」さんの仕事への思いがわかります。中川さんは、絵本を描くために、そして、それを知るために聞き取りをされています。

何よりもあの手だ。握った時のこぶしの隆起、指先にめり込んだ爪。太鼓作りを50年以上続けて、もうこれ以上はないという性根、辛抱、礼節、道徳心が宿った手だ。かつては、「あの手」をした大人が日本にはたくさんいた。物作りで産業を支えてきた国だから。そういう大人がいたる所で消えてしまって、人権を大切にしているというけれど、挨拶もろくにできない、目上の人に対して敬語も使えない、お金と効率で何でも解決できると勘違いして、いざ困難がやってきたら思考は停止、ただただ責任から逃れたがる、そんな大人ばかりが増えた気がする。

私たちの生活には今、溺れそうなくらいに過剰な情報が入り込み、その反動で個々人の価値観や信条は、いとも簡単に揺らぐのだと思う。誰もが身近に信頼できる何かを欲しているのを感じる。そんな時私は、あの職人さんたちの手を思い出す。その人がどんな時間を過ごしてきたのかを雄弁に物語る手を。そして、遠く及ばないことは百も承知で、あの手に少しでも近づきたいと願う。

太鼓づくりの職人さんの「手」から、人権の基本を学ぶことができます。「生きた動物」の皮から作る太鼓だからこそ、本物の「人権」を学ぶことができるのではないのでしょうか。

手は嘘をつかない！！

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課